

クラウドファンディングでの支援募集【第5弾】を開始しました

公益財団法人 松竹大谷図書館は、昨年実行した第4弾に引き続きまして、当館運営費及び所蔵資料のデジタル化費の募集を目的とした「【第5弾】歌舞伎や映画、鮮やかな日本文化の遺産を守り復元する。」プロジェクトを、9月6日(火)より、クラウドファンディングサイト「READYFOR(レディーフォー)」にて開始いたしました。

本館は常に財政が厳しく、平成24年、専門図書館としては初めて、運営資金を募集するためのクラウドファンディングプロジェクトを「READYFOR」で実行しました。以来、昨年まで合わせて4回のプロジェクトを実行し、いずれも目標金額を達成し、これまでに累計で、約1,233万円の資金調達に成功しています。

そして、今年も「第5弾」として、支援募集のプロジェクトを、昨年と同様、クラウドファンディングサイト「READYFOR(レディーフォー)」で実行します。

プロジェクト名 『【第5弾】歌舞伎や映画、鮮やかな日本文化の遺産を守り復元する。』

- 募集期間 平成28年9月6日(火)～10月26日(水)【50日間】
- 目標金額 250万円(図書館の平成28年度運営資金:180万円
／「組上燈籠絵」161枚のデジタル化、及び3組の復刻版印刷費用:70万円)
- 募集金額設定 一口 3,000円/5,000円/10,000円/30,000円/50,000円



組上燈籠絵 菅原天神記組上テケ五枚続
(明治35年のうちの一枚)

目標金額のうち、180万円は平成28年度の当館の運営資金で、今回は、主に経年劣化で故障した電動書架の修理費に充てます。これに、当館が所蔵する、明治から大正期の歌舞伎に関する「組上燈籠絵(くみあげどうろうえい)」161枚のデジタルアーカイブ化と復刻版の作成費を合せて、合計250万円としました。

「組上燈籠絵」とは錦絵の一種で、風景や、建物、歌舞伎の演目などを描いたものですが、錦絵として鑑賞して楽しむだけではなく、玩具として絵の中の部品を切り出して、立体に組み立てて遊ぶ、いわば現代のペーパークラフトのようなものです。

「組上燈籠絵」は、切り抜いて遊ぶため、錦絵そのままの形で後世に残されたものが少なく、本図書館で所蔵しているような保存状態のよいものはいへん希少です。

そこで、今年の第5弾プロジェクトでは、支援金でこの貴重な「組上燈籠絵」をデジタル化し画像公開することで、多くの方に「組上燈籠絵」の存在を知っていただき、アーカイブを研究に活用していただくことを考えています。

ご支援の金額に応じてリターン(お礼の品)を設定しています。当プロジェクト限定オリジナル文庫本カバーや、所蔵する歌舞伎・映画台本のうち200タイトルの中から支援者にお好きな作品を選んでいただき、その台本カバー(台本を保護するための手作りカバー)に支援者のお名前を載せる権利など、趣向を凝らしたリターンを設定しております。

是非、プロジェクトページをご覧ください。周囲の方にもお広めください。また趣旨に賛同してご支援いただければ幸いです。

くわしくは、下記のURLまたは上部の館名入りQRコードからプロジェクトページをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan5>

★公式 Facebook 始めました★ こちらでもクラウドファンディングの情報を発信しております!

<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトで集める支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため寄附者への税制の優遇措置は受けられません。



「歌舞伎台本」文庫本カバー[左]
「映画台本」文庫本カバー[右]
※大きい方は本物の台本文庫本カバーは見本

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 8月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『姫山姥』	○			
	『権三と助十』	○			
	『東海道中膝栗毛』	○		○	○
	『艶紅曙接拙 紅翫』	○			
	『新古演劇十種の内 土蜘蛛』	○			
	『廓嘶山名屋浦里』	○			
新橋演舞場	『ミュージカル 狸御殿』	○	○	○	○
松竹座(大阪)	『ANOTHER & Summer Show』	○		○	

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

大阪新歌舞伎座	8月	『中村美律子デビュー30周年記念公演』プログラム
紀伊國屋ホール	8月	人形劇団ブーク『ピンクのドラゴン』プログラム
国立劇場大劇場	7月	『春日若宮おん祭』プログラム
国立文楽劇場	8月	『第26回上方歌舞伎会』プログラム
シアタークリエ	7月	『ミュージカル ジャージー・ボーイズ』プログラム
	8月	『頭痛肩こり樋口一葉』プログラム
新国立劇場小劇場	7月	『月・こうこう、風・そうそう』プログラム
地方巡業	7月	『ドラゴンクエスト ライブスペクタクルツアー』プログラム
	7月	劇団若獅子『春秋真田物語』プログラム
帝国劇場	7月	『ミュージカル エリザベート』プログラム
	8月	『ミュージカル 王家の紋章』プログラム
天王洲銀河劇場	7月	『舞台 ペコロスの母に会いに行く』プログラム
東京国際フォーラムホールC	7月	青山メインランド『ピーターパン』プログラム
日生劇場	8月	『ミュージカル 三銃士』プログラム
博多座	8月	『ミュージカル エリザベート』プログラム、ポスター
博品館劇場	7月	“創造集団”生活向上委員会『RYOMA』プログラム
	8月	Tokyo七福神GEKIJOU『セタジャンクション昭和篇 探偵遊戯と優しいウソ』プログラム
		『泪橋ディンドンバンド』プログラム
		『くまのがっこうミュージカル ジャッキー!』プログラム
		グランワルツミュージカル『2016年の「仰げば尊し」』プログラム
パルコ劇場	7月	『母と惑星について、および自転する女たちの記録』プログラム

■ 映画プログラム ■

『ジャングル・ブック』

『ストリート・オーケストラ』

『神様の思し召し』

『ライト/オフ』

(新着資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

『AAC』2016年Vol.89
『Confetti』2016年9月
『Confettiかわら本』
2016年7月号,8月号,9月号
『SePT倶楽部 information』
2016年7月号,9月号
『あぜくら』2016年8月号
『てがみ座通信』第7葉
『シアターガイド』2016年10月号
『ジョイン』2016 Jul. No.87, 上演記録に関する
調査研究報告書正会員団体上演記録(2015年
1月-12月), 上演記録に関する調査報告書正
会員団体上演記録〔学校公演〕2015年
『テアトロ』2016年9月号
『ラ・アルプ』2016年9月号
『演劇界』2016年9月号,10月号
『喝采』2016年11月号
『国立演芸場公演ガイド』平成28年9月号
『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』10号
『大向う』平成28年8月号,9月号
『伝統文化新聞』2016年(123号)
『日本芸術文化振興会ニュース』平成28年9月号
『日本照明家協会誌』2016年8月号
『日本舞踊』68巻9月号
『日本舞踊協会報』2016年7月
『悲劇喜劇』2016年9月号
『文化座』175号
『邦楽の友』平成28年9月号

■ 映画雑誌 ■

『NFCニューズレター』2016年8月-9月号
『SCREEN』2016年10月号
『エキブ・ド・シネマ』2016年No.211
『キネマ旬報』
2016年9月上旬号,8月下旬号,9月下旬号
『シナリオ』2016年10月号
『シナリオ教室』2016年9月号
『ドラマ』2016年9月号
『映画テレビ技術』2016年9月号
『映画撮影』2016 Aug No.210
『衛星劇場プログラムガイド』2016年9月号

資料をご寄贈くださった方々(敬称略・順不同/2016年6月~7月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、テアトル・エコー、キネマ旬報社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、演劇出版社、日本映画テレビプロデューサー協会、劇団四季、株式会社日本舞踊社、国立劇場、新歌舞伎座、明治座、文学座、劇団民藝、一般社団法人日本民間放送連盟、デアゴスティーニ・ジャパン、博多座、関西・歌舞伎を愛する会、愛知芸術文化センター、国文学研究資料館、丸善出版株式会社、朝日新聞出版、鈴木仲、ロングランプランニング株式会社、小林孝江、株式会社カモミール社テアトロ編集部、伝統文化新聞、早川久美子、若林さだ吉、青い鳥創業、公益社団法人日本照明家協会、一般社団法人長唄協会、神奈川県演劇連盟、児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会、帝国劇場、株式会社東急文化村、(株)近代映画社、上村文夫、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、銀座 博品館劇場、シアタークリエ、劇団青年座、株式会社ワタナベエンターテイメント、銀座百店会、劇団銅鑼、映画論叢、東宝株式会社、岩波書店、八木宏美・フランコ・ピッコロ、おもだか会、(有)アゴラ企画、シナリオ・センター、邦楽の友社、フィルムセンター、K A A T 神奈川芸術劇場、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、無声映画鑑賞会、前進座、こまつ座、俳優座劇場、東京都江戸東京博物館、スイセイミュージカル、新潮社、人形劇団プーク、日本近代文学館、一般社団法人義太夫協会、常磐津節保存会、岩波ホール、博物館明治村、神戸女子大学古典芸能研究センター、公益社団法人日本演劇興行協会、流山児★事務所、花組芝居、三越劇場、世田谷文学館、社団法人日本演劇協会、山本茂、都民劇場、(株)歌舞伎座

どうもありがとうございました

第60回松竹大谷図書館所蔵資料展示「初代喜多村緑郎」展

展示期間：2016年8月30日～10月26日／於 閲覧室

今回の展示は本年9月新橋演舞場と大阪松竹座にて行われる「市川月乃助改め二代目喜多村緑郎襲名披露九月新派特別公演」を記念して、新派を代表する名女形、初代喜多村緑郎の資料を展示します。

初代喜多村緑郎は、本名は喜多村六郎といい、明治4[1871]年7月23日、日本橋橋町の薬種商の子として生まれました。素人芝居や青柳捨三郎一座の北海道巡業、山口定雄や福井茂兵衛など様々な一座の芝居に出演した後に関西へ移り、明治29[1896]年大阪の角座にて、高田實、小織桂一郎、秋月桂太郎らと共に「成美団」を旗揚げします。それまでの壮士芝居や書生芝居とは異なるリアリズムを迫及した芝居を上演した「成美団」は、新派の基礎をつくりあげました。成美団より高田・小織が脱退し解散した後は、明治33[1900]年6月より道頓堀朝日座で秋月桂太郎とともに興行し、新演劇の発展に尽力しました。明治39[1906]年6月、10年ぶりに東京へ戻り、本郷座の高田實一座に加わり『やどり木』で主演。同年10月に初演の『俠艶録』が評判となり、以後、本郷座を拠点に「本郷座時代」と呼ばれる、新派の黄金時代を築きました。また、泉鏡花と親交が深く、様々な鏡花作品を初演しました。『婦系図』や『日本橋』の初演では、それぞれお鳶、お孝を演じています。大正に入ってから、伊井蓉峰・河合武雄・初代喜多村緑郎の三巨頭時代と謳われる新派の牽引役を担い、河合とともに新派の名女形として名を馳せました。昭和23[1948]年芸術院会員に選出、昭和30[1955]年には重要無形文化財保持者（人間国宝）に指定され、文化功労者に選ばれました。明治より昭和まで長年に渡って活躍し、昭和31[1956]年1月には、産経ホールにて85歳で『婦系図』のお鳶を演じています。昭和36[1961]年5月16日没、享年91歳。最後の舞台は昭和34[1959]年11月明治座『近松物語』意俊の伯母お米でした。新派の生き字引といわれたその生涯は、まさに新派の歴史そのものでもありました。

展示資料一覧

- 明治31[1898]年6月角座プログラム「新演劇成美団『夜と朝』」
[左]右上に当時26歳の初代喜多村緑郎の写が見られる/[右]プログラム表紙[複製]
- 明治39[1906]年6月本郷座プログラム『やどり木』
大阪より10年振りに東京へ戻り、高田實の一座に加盟した時のプログラム
[左]11行目に「喜多村緑郎が加盟し…」とある/[右]プログラム表紙[複製]

●スチール写真

「新派の人々」[前列左より]中野信近、藤沢浅二郎、高田實、佐藤紅緑

[後列右より]木下吉之助、初代喜多村緑郎、五味国太郎、児島文衛

- 『日本橋』大正4年[1915]3月本郷座 ◆初演/[左より]お孝(初代喜多村緑郎)、葛木晋三(伊井蓉峰)
- 『後編二筋道』昭和7[1932]年1月東京劇場/芸妓喜代次(初代喜多村緑郎)
- 『小梅と一重』昭和7[1932]年9月明治座/[左より]宇治一重(喜多村緑郎)、假名屋小梅(河合武雄)
- 『誓』昭和11[1936]年9月明治座/[左より]おひさ(河合武雄)、おゆき(初代喜多村緑郎)、柳澤(柳永二郎)
- 『日本橋』昭和13[1938]年3月明治座/[左より]お孝(初代喜多村緑郎)、五十嵐伝吾(大矢市次郎)
- 『掬緑瀧白糸』昭和13[1938]年8月明治座/瀧の白糸(初代喜多村緑郎)
- 『涙の四つ辻』昭和13[1938]年11月明治座/[左より]女将おてつ(河合武雄)、芸妓桑次(初代喜多村緑郎)
- 『白鷺』昭和14[1939]年2月明治座/[左より]竹の家小篠(花柳章太郎)、和歌吉(初代喜多村緑郎)
- 『平次の女難』昭和14[1939]年7月明治座/[左より]お静(市川紅梅=三代目市川翠扇)、銭形平次(初代喜多村緑郎)
- 『新篇髪下地』昭和16[1941]年2月東京劇場/[左より]那珂織衛(伊井友三郎)、阪東染八(初代喜多村緑郎)
- 『柏家夏吉』昭和16[1941]年9月明治座/柏家夏吉(初代喜多村緑郎)
- 『湯島の境内』昭和17年[1942]年1月明治座/[左より]早瀬主税(梅島昇)、お鳶(初代喜多村緑郎)
- 『残菊物語』昭和24年[1949]年10月東京劇場/五代目菊五郎(初代喜多村緑郎)
- 『婦系図』昭和30[1955]年12月新橋演舞場 喜多村緑郎舞台生活六十年記念上演
[左より]小芳(初代喜多村緑郎)、妙子(初代水谷八重子)
- 『婦系図』昭和33[1958]年5月新橋演舞場 喜多村緑郎米寿記念並に初演より五十年記念
[左より]早瀬主税(伊志井寛)、酒井俊蔵(大矢市次郎)、小芳(初代喜多村緑郎)

●台本・スチール

『日本橋』巖谷三一脚色 昭和15[1940]年2月東京劇場 ※表紙には『日本橋抄』とあり
警視庁検閲台本/表紙右側二カ所の赤い印は検閲印。右下の「提出昭和15年1月19日」は警視庁へ提出した日付スチール/[左より]お孝(初代喜多村緑郎)、葛木晋三(梅島昇)

●スチール写真「初代喜多村緑郎」

●図書

- 『藝道礼讃』初代喜多村緑郎著 昭和18[1943]年3月二見書房発行
- 『わが藝談』初代喜多村緑郎著 昭和27[1952]年11月和敬書店発行
- 『喜多村緑郎日記』喜多村九寿子編 昭和37[1962]年5月発行
初代の妻が原本を忠実に筆写した原稿を基に出版された
- 『新派名優 喜多村緑郎日記』第1巻 紅野謙介・森井マサミ編 平成22[2010]年7月発行
昭和5年から昭和12年の初代の日記を全3巻にわたって収録
- 『喜多村緑郎追慕』喜多村九寿子蔵版 昭和48[1973]年10月発行



明治39[1906]年
6月本郷座
プログラム



わが藝談 初代喜多村緑郎著

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実に永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2016（平成28）年8月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアタース

個人（敬称略）

鳥越文藏

どうもありがとうございます

書架右側ブロックのセンサーを修理中



■ 編集後記
 ▼巻頭でお知らせしていますように、第5弾のクラウドファンディングが始まりました。今年も無事目標達成できますよう、スタッフ一同がんばります！
 ▼8月16日より8月29日まで、2週間の夏期特別整理休館をいたしました。今年の夏は、スタッフ全員参加で行うような大規模な作業は特にありませんでしたが、経年劣化により故障した電動書架のセンサーの交換作業を業者の方に行っていたいただきました。現在のビルに移転して以来、14年使用している電動書架ですが、ここ2、3ヶ月調子が悪く、たびたび警告音が鳴って止まってしまう現象が発生しており、この問題を解消するには電動書架のセンサーを全て交換する必要がありますが生じたためです。この作業に約百万円もかかるのですが、この緊急の費用は、巻頭でお知らせした第5弾のクラウドファンディングにて、平成28年度事業費の一部として募集させていただくこととなりました。皆様のお力添えを、何卒よろしくお願い申し上げます。



● 利用案内
開館時間
 平日午前10時～午後5時
休館日
 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
 ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびウェブサイトに掲示します。
閲覧 館内閲覧のみ
入館料 無料

● 交通案内
 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

